

沢島

ひでたか通信 Vol.27

ホームページ <http://sawashima.com/>

渋谷区議会議員 沢島ひでたか

令和3年第1回定例会号

—渋谷区議会区政報告—



新型コロナウイルス感染症対策を着実に推進！

ワクチン接種までの流れ



接種券、予診票、ワクチンについての説明が同封されています。



ワクチン接種。

まず65歳以上の方に、4月中旬以降、接種券を郵送します。



接種日時、接種会場をご予約。

※ご質問、ご相談等は、ワクチンコールセンターへ。

0120-045-405

9時～18時(土曜日・日曜日・祝日も受付)

ワクチン接種について

質問 3月から医療従事者のワクチン接種が開始され、最終的には、16歳以上の希望される全区民

新型コロナウイルス感染症対策



答弁 (区長) 65歳以上の高齢者の皆様には、3月下旬以降（後日、4月中旬以降に変更）、接種券を郵送し、区内の接種会場や接種日等を事前に予約していただきます。

答弁 (区長) 65歳以上の高齢者や副反応等についても正しい情報をきめ細やかに提供することが不可欠と考えます。

令和3年2月25日(趣意)

第1回定例会・区議会公明党の代表質問より

「渋谷区子育てネウボラ」が8月に開設！
高齢者デジタルデバイド解消事業が実現へ！

また、ワクチン接種の効果や副作用等に関する情報提供については、ニュースやホームページへの掲載、コールセンターでの問い合わせを行っていきます。

区立図書館への消毒器設置について

質問 わが会派では、コロナ禍以前から、区立図書館への消毒器設置を訴えています。

その結果、笹塚子ども図書館に設置されました。今回、コロナ感染症の拡大に伴い、区立全図書館への設置を強く求めたところ、復活予算にて設置していただくことになりました。

設置される機器の詳細、スケジュール、運用方法等について伺います。

答弁 (区長) 導入を予定している図書消毒器は、本を開いた状態で風を当てながら紫外線を照射し、ページの間まで殺菌ができ、ほこりなども除去できます。



図書消毒器は図書館の出入り口付近に設置し、本は1回6冊まで、約30秒で消毒が完了します。

利用者がご自分で操作することで、安心して図書館をご利用になれます。



パルスオキシメーター

すでに消毒器のある笹塚子ども図書館以外の9館に、来年度4月から導入します。

質問 パルスオキシメーターは、洗濯ばさみのようなセンターで指先を挟み、LEDの光を当て、指を透過する光によって、血液中の酸素飽和度と脈拍数を測る機器です。

東京都から100個のパルスオキシメーターが届いていると承知しています。今後、どのように活用するのか伺います。

答弁 (区長) 本区においても貸出を開始しており、原則として70歳以上の方や基礎疾患のある方などのうち、自宅療養となられた方を対象としています。

毎日、保健所から健康観察の連絡を行っており、健康状態のほか、酸素飽和度の数値も合せて確認しています。

パルスオキシメーターの活用について

介護・障がい者施設における感染症対策について

質問 昨年の第4回定例会で約3000万円の補正予算が可決され、感染者の有無に関わらず、介護・障がい者施設の利用者・職員等がPCR検査を受けることができるようになりました。

もし、施設において感染者が発生すると、濃厚接触者は2週間の待機となるため、職員が不足し、事業継続が困難となるケースがあります。

そのような場合は、支援する事業所間のマッチング等が必要になると考えます。

江戸川区では、職員の感染等による介護施設の人手不足に対応するため、異なる法人間で必要な職員を迅速に派遣できる制度を創設しました。

渋谷区でも、ぜひ創設すべきと考えます。

答弁 (区長)ご提案の介護施設の運営継続に対する支援につきましては、本区においても、介護職員の応援協定締結に向けた準備を進めているところです。

東京都の職員応援派遣体制の確保事業に、区立はあととある宿が登録し、運営継続支援が受けられる体制を整えています。

今後も、各施設における利用者支援の体制確保を進めるとともに、各施設における新型コロナウイルス感染症の感染予防策を徹底してまいります。



本年8月にオープンする、
渋谷区子育てネウボラの外観と内観



質問 「渋谷区子育てネウボラ」が本年8月、神南分庁舎跡地に、開設の運びとなりました。

渋谷区子育てネウボラは、どのような支援を行うのか伺います。

答弁 (区長)子どもや保護者が交流し、子育てについて気軽に相談できる環境を整え、施設一体として、切れ間ない、子育てを支援してまいります。

渋谷区子育てネウボラについて

子育て支援・教育

高齢者シジタルデバイド解消事業について

福祉・健康

質問 スマートフォンを保有していない65歳以上の区民に対し、最大3000台を無償貸与し、通信料・通話料も区が負担するという事業が実施されます。

答弁 (区長)デジタル活用支援員制度における、デジタルネイティブ世代の活用について、わが会派から提案しましたが、その後の進捗についてお伺いします。

答弁 (区長)デジタル活用支援員は、スマートフォンなどの操作に詳しく、支援する意欲のある人材を活用したいと考えます。

年齢層は、シニア層のほか、SISA協定を締結している区内大学の学生や若い世代などから広く募集します。

デジタル活用支援員の育成と活用により高齢者のニーズに応じた継続的なサポート体制を構築してまいります。

この事業は、居住支援法人と協定を結び、見守りの際の緊急時に駆けつけなどを行い、万が一の際に現状回復や家財整理などを補償することで、賃貸住宅オーナーが安心して高齢者を受け入れができるようになります。



住宅確保要配慮者の住宅支援について

質問 昨年の第1回定例会にて、要配慮者の住宅確保支援のため、



住まいに関する3つのサービス(①見守りサービス②亡くなった際の葬儀対応・費用補償③亡くなつた際の片付け・費用補償)を1つのパッケージにして提供し、入居者自身の安心とともに、家主や管理事業者が、要配慮者に安心して貸すことができる制度の導入を提案しました。

答弁 (区長)住宅確保要配慮者の居住支援の新規事業として、議員ご提案の3つのサービスを含む高齢者の民間賃貸住宅入居促進事業に取り組みます。

この事業は、居住支援法人と協定を結び、見守りの際の緊急時に駆けつけなどを行い、万が一の際に現状回復や家財整理などを補償することで、賃貸住宅オーナーが安心して高齢者を受け入れができるようになります。

この事業の実効性を高めるため、多くの不動産事業者等にもご協力をいただくことで、区内で住宅確保要配慮者の居住支援の輪を広げる第一歩となることを願っています。

渋谷区政へのご意見、ご要望など、なんでもお気軽にご相談ください!!

さわしま

英 隆

渋谷区議会議員 沢島ひでたか

〒150-8010 渋谷区渋谷区宇田川町1-1

渋谷区役所内渋谷区議会公明党控室

TEL. 03-3463-1036

FAX. 03-5458-4962

